

# すわみつえ通信

No.184 2021年8月2日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

## 福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

### 鴻巣市コロナ対策

コロナ新規感染者数が、埼玉県で初めて1000人を超えて過去最高を更新するなど異常なペースで急増しています。鴻巣市においても累計602人(7月31日現在)の感染者数が報じられました。感染防止に有効なワクチン接種が急がれます。

#### 【鴻巣市】ワクチン情報

- 8月2日 50歳から59歳へ予約受付のはがき発送。到着次第予約可能。
- 9月中旬(予定) 49歳以下(12歳まで)の予約受付開始。接種は10月初旬以降。

#### 〈キャンセル分の対応〉

保育施設・幼稚園、放課後児童クラブの職員に接種済み。市職員(窓口職員を中心)に実施。市立小中学校の教職員へは、7月19日～夏休み期間に順次接種。

### 政治倫理審査会(第3回)お粗末な間違いだらけの審査請求書で審査は不当

7月29日(木)午前9時より本庁舎5階理事者控室で開催された審査会を傍聴しました。審査対象のチームコスモス会派の阿部慎也議員・羽鳥健議員への審査員による質疑と両議員の意見陳述が行われました。

審査請求理由の中で、「議会運営委員会が不規則発言を認定」として

いますが「議会運営委員会会議録」には「不規則発言」の文言が皆無です。また、「代表者会議で羽鳥健議員(会派代表)が発言したとするチームコスモス通信の『読者には小学生もおり』」の引用に關しても会議録にはない文言です。架空の文言が引用されていることは公文書のねつ造であり、審査請求理由の根拠が不明であることがわかりました。

審査請求代表者である加藤英樹議員は議会運営委員会にも代表者会議にも出席をしている議員です。他の12名の請求者の中には、当時の議長・副議長・議会運営委員会委員長もいます。内容を精査しない、正当とは言いがたい、何のための審査請求なのかと言わざるを得ません。

### 県央広域事務組合議会にて五輪対応を質問

7月28日(水)に県央広域事務組合議会7月定例会が開催されました。すわみつえ議員は一般質問で東京五輪救急体制の当組合への要請があるかを確認しました。東京会場への派遣要請はないものの、埼玉県4会場の内、ゴルフ競技場となる川越市と射撃競技会場となる朝霞市への応援協定が昨年2月25日に締結されました。

また、2018年11月13日に五輪対応として警察・消防でテロ訓練を実施しましたが、当組合も参加していました。派遣要請は桶川消防署が中心に対応することになっています。新型コロナウイルス感染が急拡大する中で、いのちを最優先にすべきです。会場周辺の消防力まで影響を及ぼす東京五輪は中止しかありません。

鴻巣駅にエレベーター・エスカレーター設置をの署名にご協力ありがとうございました！

7月26日(月)、要望書署名3255人分を鴻巣市長あてに提出しました。市は市長政策室長と都市建設部長が対応しました。要望書提出にすわみつえ市議も同席しました。



市に署名提出 26日



俳句コーナー

我が一句絵手紙となりて帰り来ぬ

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

# 「一般医療にしわ寄せがいくような状況になればオリンピックの中止、感染拡大が続けば来月のパラリンピックも中止を検討すべき」 組織委員会コロナ対策専門家会議の岡部信彦座長

岡部信彦座長



これはタイミングとしてはその継続をどうするか本当に考えなきゃいけない

「一般の医療そのものに、しわ寄せが来るっていうのは、これはタイミングとしてはその継続をどうするか本当に考えなきゃいけない」。東京オリンピック・パラリンピック組織委員会でコロナ対策を検討する専門家会議の岡部信彦座長が取材に応じ、「一般医療にしわ寄せがいくような状況になれば大会の中止も検討するべき」との考えを示した。

岡部氏は一般医療に大きな影響が出るような状況になれば、オリンピックの中止も考えなければならないとし、今はまだその段階ではないとしながらも、「選手の人と一般の人が同時に、例えば入院しなくちゃいけない時に、選手を優先というよりも重症度を優先だ」と述べて、感染拡大が続けば来月のパラリンピックも中止を検討するべきとしている。(ANNニュース 7月30日配信)

現首相を相上(そじょう)に載せる映画史上も珍しいドキュメンタリー映画「パンケーキを毒見する」が初公開された7月30日、東京・新宿ピカデリーで関係者らの舞台あいさつがありました。

プロデューサーの河村光庸(みつのお)氏が、自民党の総裁選で菅義偉氏が勝った時から考えたという映画化です。現役の政治家や元官僚、ジャーナリストらの多彩な証言に風刺アニメを生かし、菅氏の「素顔」、この政権下の日本の姿を浮き彫りにします。メディアの劣化の現状を突くなかで、「しんぶん赤旗」の活躍も紹介しています。

内山雄人(たけと)監督は、満場の観客に感謝し、若者の親しみやすい風刺アニメを織り込んだ工夫や短い撮影期間

## 菅政権下の日本の現実を浮き彫りに



「パンケーキを毒見する」のポスター＝スターサンス提供

映画「パンケーキを毒見する」公開

での奮闘を語り、「この10年の政治の不正、腐敗を忘れないでほしい。生活と政治は近いものだ」と知っていただき選挙の投票率をぜひあげたい」とのべました。

企画から関わった元経産省官僚の古賀茂明氏、元文部科学事務次官の前川喜平氏は、政権を監視するメディアが機能していないと指摘し、この映画で菅氏を知ってほしいとそれぞれ語りました。

「選挙に影響を与える映画を考えた」という河村氏は、「マスコミは、選挙中沈黙するのではなく、『私』を持って、おかしいことはおかしいと言ってほしい」と要望をのべました。

(しんぶん赤旗 7月31日付)

## 飼い猫、人懐こくなった？ 都市封鎖でペットに変化—英研究

新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウン(都市封鎖)がペットの行動に及ぼす影響を調べた英大学の研究で、飼い猫が以前に比べて人懐こくなったと報告する飼い主が多かった。新型コロナは多くの人間にとって行動を変化させるきっかけになったが、不断はクールで気まぐれな行動が多い猫にとっても転機となった可能性がある。

英ヨーク大が6月28日、同大と英リンカーン大の研究者らによる研究結果を発表した。それによると、67.3%の飼い主がロックダウン期間中にペットの行動に変化があったと報告した。33.1%の飼い主が「ペットが自分の周りをより付いてくるようになった」と述べ、27.5%が「より人懐こくなった」と報告した。

とりわけ猫の飼い主は、犬など他の動物の飼い主に比べて、「より人懐こくなった」と回答する割合が高かった。多くの飼い主が在宅勤務を迫られ、触れ合う時間が増えたことが原因とみられる。【ロンドン時事 6月30日】

